

経営協議会学外委員からの指摘事項への対応について(令和元年度対応済み分)

広島大学

	事項【意見抜粋】	本学の対応	対応室	指摘回	対応状況
1	<p>広報戦略の強化について</p> <p>【広報に関しては、取り組みに対するレビューが重要である。レビューを繰り返しながら次の戦略につなげていくことが重要ではないか】</p> <p>【広報活動については、有効性の検証が必要なのではないか】</p> <p>【広報については、ターゲットを明確にし、ステークホルダーがどの情報が必要なのかを明確にすることで、より効果的な広報が実施でき、その評価を行うことで今後の取り組みが明確になる。】</p>	<p>学外広報モニターアンケートを継続的に実施している。今年度は28名を採用し広報誌「HU-Plus」の発行に合わせて、広報誌等の紙媒体や公式ウェブサイト等についてアンケートを実施し、アンケート結果に基づき、公式ウェブサイトの「留学・国際交流」サイトのデザインやレイアウトの見直しを開始した。定点観測としても継続的に学外広報モニター制度は実施することとしている。</p> <p>また、広報活動に学生の視点を取り入れるために学生広報ディレクター(39名)や学生PAを活用し、広報誌の製作や写真・動画撮影を行っている。SNSからの発信に学生目線の彼らの作品を活用したり、学生からの情報の収集を行うことで、高校生などの世代から共感を得ている。</p> <p>さらに、広告業界やウェブ専門家からなる広報アドバイザーとのミーティングを開催し、レピュテーション向上のための広報活動について意見交換を行ったところ、「外部からの評価を上げるため、メディアからの意識を向けるために研究者を紹介する戦略的な広報が必要」との指摘を受け、研究者情報に関してメディアの知りたいことを発信できるコンテンツ整備の企画検討を開始した。</p> <p>広報誌「HU-Plus」は、年3回の発行毎に個人発送分等として約16,000人に送付し、その際には寄附の案内パンフレットと振込用紙も同封している。広報誌発送月の寄附申込み件数は、それ以外の月に比べて約2倍程度多くなっている。広報誌とともに送付することで寄附への関心が喚起できていると考えられる。</p>	財務・総務室	第71回 (元.6.25) 意見交換会	対応済 (02.01.23 報告)
2	<p>文理融合について</p> <p>【学生の文系、理系の壁を外して文理融合するといった点で、例えば、語学や健康スポーツのクラス編成を行うに当たって、文系と理系の学生をミックスし異分野の学生が交流する機会を作るなどの配慮をしていただきたい。】</p>	<p>教養教育における文理融合に関する取り組みは以下のとおりである。</p> <p>①カリキュラム・・・人文社会科学系科目4単位及び自然科学系科目4単位の計8単位を全学生必修とする領域科目の開設。</p> <p>②クラス編成・・・学部ごとに、授業科目の学期・曜日・時限を指定(指定授業時間割)し、文系と理系の学生が同じクラスで履修できるよう配慮。健康スポーツ科目については、受講者が特定の学部には偏らないよう時間割を編成し、多くのクラスで文系と理系の学生が混在。ただし、一部の語学の科目については、教育効果を考慮し、習熟度を優先したクラスを編成。</p> <p>上記に加えて、文系学生と理系学生が混在するクラスにおいて、それぞれの異なった視点や考え方を共有できるよう、アクティブラーニング(ディスカッションや発表等)を導入した授業を実施することに重点的に取り組んでおり、FD(授業参観・研究会等)を継続的に実施している。</p> <p>今後は、FD委員会や高等教育研究開発センターなどの組織と協働して、文理融合やアクティブラーニングを進めるFDを実施することを検討している。</p>	教育室	第72回 (元.9.5) 意見交換会	対応済 (02.01.23 報告)
3	<p>平和科目について</p> <p>【平和学というものは決して74年前のことだけではなく、今現在世界で起きていることも平和学の1つのテーマであり、今の時代の学問として必要であるという視点をもっていただきたい。】</p>	<p>平和科目では、戦争の悲惨さや核廃絶を含む軍縮を展望する視点を育むだけではなく、「貧困」、「飢餓」、「人口増加」、「環境」、「教育」、「文化」など多様な観点から広く平和を捉え直す科目を設定している。</p> <p>(授業科目例:「平和と人権ーグローバル化とジェンダー視点」、「国際政治と地球環境から見る平和」、「放射線と自然科学」、「飢餓・貧困・環境問題からみた平和学」など)。</p> <p>また、大学院再編に伴い、2019年度からすべての大学院生が必修として課される大学院共通科目を実施している。その中に、多様な観点から平和を考える科目として開講する「普遍的平和を目指して」、「Hiroshimaから世界平和を考える」を、「持続可能な発展科目」群の1つとして位置付けている。</p>	教育室	第72回 (元.9.5) 意見交換会	対応済 (02.01.23 報告)